

2013年度	リフレクションペーパー
--------	-------------

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	株式会社論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	片山准一						
授業の到達目標 (シラバスから)	株式会社の発展過程を唯物弁証法的論理を以って、歴史的・論理的に説明できる。株式会社企業が抱える問題点・課題を説明できる。						
日程と内容	1. はじめに 2. 資本の結合 3. ~4. 企業形態の展開 5. 株式会社の経済理論 6. 株式会社の発生史 7. 株式会社の発展 8. 株式会社の古典的学説 9. 株式会社の決定指標 10. 株式会社方法論・論争 11. 株式会社の支配論争とコーポレート・ガバナンス論 12. 企業集中形態 13. カテル 14. トラスト 15. コンチェルソ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題 演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	今回も受講する学生が少なかったが、ほぼ毎回真面目に出席して、集中して聴講していた学生が2名程。あとは出席したり欠席したりで、真剣さが不足していたようである。その結果2名のみしか合格点に達しなかった。						
反省点	講義中何度も繰り返し質問を行っても、合格した学生は回答してくれるが、その他の学生はワカリマセンを連発するのみであった。もっとしつこく質問して、答えさせる必要があったのかもしれない。						
来年度の計画	少人数であれば学生諸君も私語もなく、寝たり、途中入退出もなく、静粛且つ緊張感のある講義環境を保てることがわかったので、教育効果を考えると少人数教育が望ましいと思われる。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケート用紙に「少人数で授業がとても分かりやすく興味のある内容だった」との感謝の言葉があった。他方で、「結構、内容が難しかった」と真逆の意見もあった。講義に関しては、ある程度のレベルを維持していかなければならない。受講生側の大きい努力が必要と思われる。ただ、出席しておればわかるというものでもない。しっかり予習して、講義に臨まなければ意味のないものとなる。						
履修登録者数	43名	定期試験 受験者数	16名	合格者数	2名	合格率	13%